

兵高教組

調査情報

2014年6月20日

7号

兵庫県高等学校教職員組合調査部

TEL : 078-341-6745

FAX : 078-351-3185

URL : <http://www.hyogo-kokyoso.com>

mail : honbu@hyogo-kokyoso.com

学校経費当初予算額 示される 実習費10%教職員旅費0.5%カット

今年度の学校予算の総額が示されました。ここ数年、県行革プランに基づく教育予算の削減によって、各学校では出張旅費や冷暖房費にとどまらず、日常の教育活動や生徒の学習に不可欠な実習費、机・椅子や教室用カーテンの購入もままならない状況が生まれてきています。高教組は、まずこの学校予算の実態をしっかりと調査し、財政難にあっても、教育費は未来への投資であることを訴え、教育予算の増額を求めています。

過去4年間の学校予算削減の経過【全日制高校分のみ】(単位:千円)

	H26当初予算 (H23年度比)	H25当初予算 (H23年度比)	H24当初予算 (H23年度比)	H23当初予算
学校施設維持管理費 (光熱費・電話代・コピー代・ セコム・消耗品・修繕費等)	※2,582,450 (89.9%)	2,553,921 (89%)	2,596,622 (90.4%)	2,871,073
教育振興費 (出張旅費・課外活動委託料・ 実習費・備品購入費等)	1,181,319 (85.6%)	1,211,496 (87.8%)	1,290,337 (93.5%)	1,379,794
合計	3,763,769 (88.5%)	3,807,893 (89.6%)	3,886,959 (91.4%)	4,250,867

※修学支援金事務経費を含む

もう限界を超えている 学校予算を増額させよう!

過去4年間の経過を見てみると、H24年度に大幅な削減があり、それ以降も漸減傾向が続いています。今年度も実習費の10%カットや旅費の0.5%カットをはじめとして厳しい内容が盛り込まれています。

“すべての”子どもに“ひとしく”ゆきとどいた教育をすすめるために、教育条件を整備することは保護者、教職員、そして何より子どもたち自身の切実な要求です。財政難を理由にしたこれ以上の教育予算カットは「これからの兵庫県を支えていく次世代の若者をすくすくと育てたい」という県民の願い

と真っ向から対立するものです。もう、教育現場は限界を超えています。

今後、6月末に各学校へ学校予算年間額の内示があります。それに応じてそれぞれの学校で年間執行計画を立て、7月下旬に県に提出します。その際、まずは各学校の予算の実態がどうなっているのか、具体的な事実に基づいて明らかにしましょう。高教組はそれを「教育黒書」にまとめ、広く県民に訴えます。各学校では、この深刻な予算の実態を事務室も含めた教職員全体で共有しましょう。そして、工夫すべき点については知恵を出し合いながら、どうしても削れない必要なものについてはあらためて予算の増額を求めています。「無いと言うんだから仕方がない」ではなく、日々の忙しさの中に埋もれてしまっている職場の要求をきちんと集約し合意を形成しながら、「必要なものは必要なんだ」としっかり県に届けていきましょう。

